

モバイルエンタープライズのセキュリティ保護

簡単な保護、管理、実行に向けて

モバイルデバイス上の企業データを保護することは、現在のITセキュリティの関心事です。モバイルデバイスが活動的なビジネスマンの生産性を維持する一方で、データが保護されていなかったり、データセキュリティが社内および社外の要件を満たすように効果的に管理されていない場合は、データ損失、盗難、認可されていない開示といった重大なリスクが生じます。マカフィーはこのリスクを認識し、ITがモバイルエンタープライズは正解であるといえるような力を与え、簡単に持ち運べる企業データとビジネスアプリケーションの両方に安全かつ簡単にアクセスできるようにします。

今日では、より多くのビジネスマンがモバイルビジネスユーザーです。実際に、IDCでは、2011年の終わりには、米国ビジネスマンの75%がモバイルビジネスユーザーとなり、世界中では10億人に達するであろうと予想しています。このトレンドの理由は明白です。メール、カレンダー、ビジネスアプリケーション、データベース、ファイルへのモバイルアクセスによって、ビジネスマンは必要なときに必要な情報をすぐに入手できるため、生産性を高め、より多くの情報を得て、迅速に対応できることを認識しているからです。

しかしながら、ITはこうしたモバイルビジネスユーザーに対する多くの変化にも直面しています。デスクトップPCやノートPCといった従来のエンドポイントの定義が、USB、タブレット、スマートフォンなどのさまざまな高度なモバイル、マルチプラットフォームデバイスも含まれ、迅速に拡大しています。スマートフォンなどの一部のデバイスは、仕事以外の作業やプライベート用に所有され、使用される場合もあります。また、これらのデバイスに保存され、これらのデバイス上でアクセス可能な企業データ量は劇的に増加しています。企業データはビジネスの要です。今のITの課題は、簡単で、証明可能な方法により保護されるモバイルデバイス上に、その企業データを保存することです。

小型サイズで携帯できることにより、企業データの入ったモバイルデバイスは簡単に紛失したり盗難に遭います。たとえば、Ponemon Instituteによると、2008年には米国の空港で紛失した12,000台のノートPCが、たった30%しか戻って来ていません。調査したビジネス旅行者のほぼ半数が、ノートPCには顧客データや業務上の機密情報が多数あったことを認めました。仕事でもプライベートでも利用し、常に携帯しているスマートフォンは同じ運命を共有します。2009年11月のThe Registerによると、ロンドンの住民は、毎月タクシーの後部座席に平均10,000台のモバイルフォンを置き忘れていきます。

不運にも、これはデータ流出の原因となる場合があります。また、Ponemonの2009年度の調査「Cost of a Data Breach(データ流出によるコスト)」では、すべてのデータ流出の36%が紛失または盗まれたノートPCか、他のデータを保存したモバイルデバイスであることがわかりました。データ流出は、組織に競争力の低下、知的財産の損失、負の財務的影響や罰金などの損害をもたらす可能性があります。

マカフィーのモバイルデータ保護

データ中心型のセキュリティ戦略は、今日の増加しつつあるモバイルおよびマルチプラットフォームコンピューティング環境におけるベストプラクティスです。組織がモバイルビジネスユーザーに企業データへの安全なアクセスを提供できるように、マカフィーでは、企業のデータセンターからデスクトップPC、ノートPC、USB、スマートフォン、タブレットにまで及ぶ、広範な統合および一元管理できるデータ保護ソリューションを提供します。



図1 McAfeeの暗号化、DLPおよび一元管理により、企業全体のデータを保護します。

暗号化はモバイルデータを保護する最良の方法の1つです。たとえば、HIPAAデータの保護においては、暗号化は個人の健康に関する情報を不正な人物が使用したり、閲覧したり、判読できないようにするために、保険社会福祉省が推奨する2つのテクノロジーと手法です。もう1つの方法はデータ破棄です¹。Ponemon Instituteは、破棄した後の暗号化が企業データの保護戦略の一部として機密データ保護するための最も人気のあるテクノロジーであることも発見しました。

エンドポイントの保護

McAfee暗号化ソリューションは、USB、スマートフォン、タブレット、ノートPC、デスクトップPCのデータを今日の、また将来的な進化に伴って、モバイルデータ保護のニーズを満たすように組み合わせて保護します。

McAfee暗号化ソリューションには次のものが含まれます。

- *McAfee® Endpoint Encryption for PCs* – PCおよびWindowsモバイルスマートフォン向けのフルディスク暗号化
- *McAfee Endpoint Encryption for Files and Folders* – 組織全体で共有または移動するファイルおよびフォルダーの自動暗号化
- *McAfee Endpoint Encryption for Removable Media* (ファイルやフォルダー向け機能の拡張) – エンタープライズエンドポイントに接続可能なリムーバブルデバイスやメディアに保存された情報を保護
- *McAfee Encrypted USBデバイス* – ポータブルUSBデバイスでコピーおよび転送されたデータを保護。いずれかのデバイスにMcAfeeのウイルス対策ソリューションを導入しておくことで、保護機能が高まる
- *McAfee® Enterprise Mobility Management* – 既存の管理プラットフォームに接続する一元管理コンソールを使用して、エンタープライズにおいて、ノートPCで行うのと同様にモバイルデバイスの制御、可視性、セキュリティを実現。また、Apple iPhone、Apple iPad、Apple iTouch、Google Android、Microsoft Windows Mobile、Symbian、webOSのスマートフォンおよびモバイルデバイスに対するセキュリティおよび管理サポートも提供

次のようなモバイルデータ保護の追加のレイヤーも利用できます。

- *McAfee Device Control* – リムーバブルストレージデバイスおよびメディアにコピーされたデータを監視して制限し、エンタープライズで重要な資産の管理を維持
- *McAfee Host Data Loss Prevention* – 従業員によるネットワーク経由のデータの転送、アプリケーションでの使用、リムーバブルストレージデバイスへのコピーの方法を制御

便利なものとして、McAfee Total Protection™ for Data suiteが使用され、これには、McAfee Endpoint Encryption for PCs、McAfee Endpoint Encryption for Files and Folders(McAfee Endpoint Encryption for Removable Mediaを含む)、McAfee Host Data Loss Prevention(McAfee Device Controlを含む)が含まれます。

セキュリティ管理の最適化

今日、IT組織は保護、効率性、コスト効果を向上させるために、セキュリティ管理アーキテクチャーおよびエンドポイントセキュリティソリューションを最適化することによって、モバイルデータ保護への戦略的なアプローチを取っています。

McAfee® ePolicy Orchestrator®(ePO™)管理プラットフォームは、マカフィーモバイルデータ保護ソリューションの最適化されたセキュリティアーキテクチャーの基盤です。McAfee ePOは、一元的な導入、管理、ポリシー管理、パスワード回復、監視、レポート、監査、保護証明を備え、単純な管理と一貫性、ポリシーベースの保護を提供します。この一元化された制御および可視性により、セキュリティおよびコンプライアンス体制における応答時間と信頼性を確立するまでの時間を短縮できます。

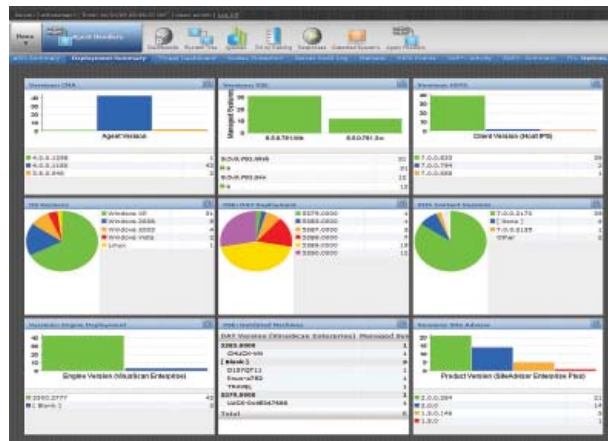


図2 McAfee ePOソフトウェアの構成可能なダッシュボードにより、ユーザーはセキュリティインフラストラクチャーを一目で監視できます。

また、McAfee ePOソフトウェアは拡張可能で、組織の規模にかかわらずシステム、ネットワーク、データおよびコンプライアンスソリューションを一元管理するための有効なセキュリティ管理プラットフォームです。McAfee ePOソフトウェアを使用すれば、35,000人以上の顧客が約6,000万ノードのセキュリティを管理し、セキュリティとコンプライアンス体制におけるコスト削減や保護の強化、さらなる可視性を実現できます。その多層アーキテクチャー、強力な自動応答システム、単一のWebベースのインターフェイスからエンタープライズワイドなセキュリティを表示および制御する機能を備えたMcAfee ePOは、最も高度なセキュリティ管理プラットフォームです。

考察

実績ある調査分析会社のGartner社による、「Gartner Magic Quadrant for Mobile Data Protection 2010Q2(2010年のモバイルデータ保護に関するGartner Magic Quadrant)」でビジョンの完成度と実行力に基づくデータ保護ソリューションが評価され、マカフィーはリーダークアドラントに位置付けられました。

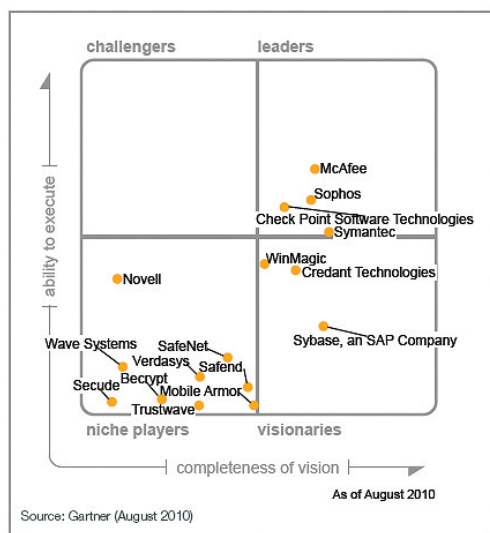


図3 モバイルデータ保護に関するGartner Magic Quadrant

このMagic Quadrantの図は、大規模な調査のごく一部としてGartner社によって公開されたもので、レポート全体を確認いただくと理解がより深まります。完全なレポート内容は、McAfee.com (<http://resources.mcafee.com/content/NAMobileDataMQReport>)で公開されています。

2010年のマカフィーの調査で、回答者の51%がノートPCでフルディスク暗号化を使用しているものの、USBデバイスでは21%しか暗号化を使用していないことがわかりました。最大の関心事は、データ保護は導入または管理が難しすぎるという点でした。マカフィーは広範なモバイルデータ保護ソリューションと一元管理プラットフォームを備え、強力なセキュリティの導入と管理を簡単にしています。

時間と場所を問わず、実質的にどのデバイス上においても証明されたモバイルデータ保護を提供するマカフィーをご検討ください。

詳細は、マカフィーの営業担当者またはパートナー担当者にお問い合わせいただくか、www.mcafee.com/japan/をご覧ください。